

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 3 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 19 年 6 月 7 日 (2007.6.7)

【公開番号】特開 2001-302505 (P2001-302505A)  
 【公開日】平成 13 年 10 月 31 日 (2001.10.31)  
 【出願番号】特願 2000-119506 (P2000-119506)  
 【国際特許分類】

**A 6 1 K 31/05 (2006.01)**  
**A 6 1 K 8/30 (2006.01)**  
**A 6 1 K 8/00 (2006.01)**  
**A 6 1 Q 19/00 (2006.01)**  
**A 6 1 P 17/02 (2006.01)**  
**A 6 1 P 17/16 (2006.01)**

【F I】

A 6 1 K 31/05  
 A 6 1 K 7/00 C  
 A 6 1 K 7/48  
 A 6 1 P 17/02  
 A 6 1 P 17/16

【手続補正書】  
 【提出日】平成 19 年 4 月 13 日 (2007.4.13)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】特許請求の範囲  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 アルキルレゾルシノール及びその塩の少なくとも何れかからなる活性酸素消去剤。

【請求項 2】 前記アルキルレゾルシノールのアルキル基が、炭素数 1 ~ 20 のアルキル基であることを特徴とする、請求項 1 に記載の活性酸素消去剤。

【請求項 3】 前記アルキルレゾルシノールが 4 - n - ブチルレゾルシノールであることを特徴とする、請求項 2 に記載の活性酸素消去剤。

【請求項 4】 前記請求項 1 ~ 3 の何れか 1 項に記載の活性酸素消去剤を含有する、炎症存在下使用用の皮膚外用剤。

【請求項 5】 前記炎症が、化学物質に対する過敏症によるもの及びアトピー性皮膚炎によるものの少なくとも何れかであることを特徴とする、請求項 4 に記載の炎症存在下使用用の皮膚外用剤。

【請求項 6】 前記炎症が起因して起こすしわ形成及び皮膚の弾力喪失の少なくとも何れかの予防用であることを特徴とする、請求項 5 に記載の炎症存在下使用用の皮膚外用剤。

【請求項 7】 前記活性酸素消去剤の含有量が、総量で前記皮膚外用剤全量に対して 0.001 ~ 10 重量%であることを特徴とする、請求項 4 に記載の炎症存在下使用用の皮膚外用剤。

【請求項 8】 化粧品であることを特徴とする、請求項 6 又は 7 に記載の炎症存在下使用用の皮膚外用剤。

【手続補正 2】  
 【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 6

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 6 】

【課題を解決するための手段】

本発明者らは、この様な状況に鑑みて、活性酸素消去能に優れる活性酸素消去剤及びそれを含有してなる炎症存在下使用用の皮膚外用剤を求めて鋭意研究努力を重ねた結果、アルキルレゾルシノール及びその塩が活性酸素消去能に優れることを見いだした。更に、この様なアルキルレゾルシノール及びその塩の少なくとも何れかを含有する皮膚外用剤が、アトピー性皮膚炎や化学物質過敏症に対して優れた効果を有することを見だし、発明を完成させるに至った。即ち、本発明は次に示す技術に関するものである。

( 1 ) アルキルレゾルシノール及びその塩の少なくとも何れかからなる活性酸素消去剤。

( 2 ) アルキルレゾルシノールのアルキル基が炭素数 1 ~ 2 0 のアルキル基であることを特徴とする、前記 ( 1 ) に記載の活性酸素消去剤。

( 3 ) アルキルレゾルシノールが 4 - n - ブチルレゾルシノールであることを特徴とする、前記 ( 2 ) に記載の活性酸素消去剤。

( 4 ) 前記 ( 1 ) ~ ( 3 ) の何れかに記載の活性酸素消去剤を含有する、炎症存在下使用用の皮膚外用剤。

( 5 ) 炎症が、化学物質に対する過敏症によるもの及びアトピー性皮膚炎の少なくとも何れかによるものであることを特徴とする、前記 ( 4 ) に記載の炎症存在下使用用の皮膚外用剤。

( 6 ) 炎症が起因して起こすしわ形成及び皮膚の弾力喪失の少なくとも何れかの予防用であることを特徴とする、前記 ( 5 ) に記載の炎症存在下使用用の皮膚外用剤。

( 7 ) 活性酸素消去剤の含有量が、総量で皮膚外用剤全量に対して 0 . 0 0 1 ~ 1 0 重量 % であることを特徴とする、前記 ( 4 ) に記載の炎症存在下使用用の皮膚外用剤。

( 8 ) 化粧品であることを特徴とする、前記 ( 6 ) 又は ( 7 ) に記載の炎症存在下使用用の皮膚外用剤。

以下、本発明について実施の形態を中心に更に詳細に説明を加える。